



43rd Business Report

第43期株主通信
2009.4.1～2010.3.31

「革新」をスローガンに
業界の牽引者たる「自覚と自立と責任」をもって
次世代アミューズメント施設の確立を
目指してまいります

代表取締役社長 中川 健男



当期の取り組みについて

株主の皆様におかれましては、平素より当事業業に対し、格別なるご理解・ご愛顧を賜り御礼申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、一部に景気回復の兆しが見られたものの、雇用情勢や就労所得環境の厳しさは依然として変わらず、生活防衛意識の高まりも含め、個人消費の改善は当面期待できない状況で推移致しました。アミューズメント施設運営業界におきましても、客単価の落ち込みに歯止めがかからず、収益確保が厳しい状況に直面しております。

このような中で、当社は昨年度開設の18カ店の新店を含めた既存店舗の市場競争力の強化を中心に、業界不況をチャンスと捉えたマーケットシェア獲得戦略を推進致しました。その上で激変する業界構図を見据え、同じ独立系上場オペレーターである株式会社ネクストジャパンホールディ

ングスとの資本・業務提携の締結および一層の関係強化をはじめ、将来の差別化・強みの構築にも着手致しました。

当期は各個店ごとの地域、客層に合わせた効率的な機器投資に加え、ゲームメダル単価の変更や預り期間の延長など、新規顧客の獲得に向けた施策を展開致しました。また、より付加価値の高いサービスの提供を目指し様々なイベント企画にも取り組み、ファン感謝イベントとして「メダルファンタジアカップ」を2度開催したほか、年末年始にはホテルニューオータニにおける特別営業企画を実施致しました。そのほかにも、当期で第3回を迎えた「接客コンテスト」では、初めて営業中の実店舗にて開催するなど、新たな試みに取り組んでまいりました。

また、当社の最重要課題であります「サービス力(接客力+提案力)」の強化につきましても、従業員自らが発掘・提案していく「アプローチ力」も付加した人材教育にシフトするとともに、幅広い層のお客様が求める細やかなニーズに応

えられるべく、ダイレクトマーケティング力の強化に取り組み、より快適な遊空間の演出を目指しました。

その上で、安定的な収益確保に向けたポートフォリオの形成を目指し、第二の柱である施設設計・施工事業の更なる強化や、店舗開発力を活かした不動産事業の強化など、法人向け事業の拡充に継続して取り組んでまいりました。

当期の業績について

当事業年度における業績は、売上高26,034百万円(前期比1,466百万円減・△5.3%)、営業利益848百万円(同666百万円減・△7.3%)、経常利益637百万円(同8百万円減・△1.3%)、当期純利益270百万円(同82百万円減・△23.5%)と減収減益となりました。

前期と比較して減収となりました主な要因につきましては、主力のアミューズメント施設運営事業において昨年度開設の新店分の上乗せや、自社店舗や保有不動産の遊休区画の有効活用(リーシング等)を推進したものの、年間を通じて既存店舗の軟調傾向が続いたことなどによるものです。

一方、減益となりました要因につきましては、マーケットニーズに合わせた適確なマシン配備による効率的な投資の推進のほか、過年度開設店舗の償却負担の軽減や販促関連費の削減、さらには全社一丸となったコスト削減などによる販売管理費の削減(同635百万円減・△19.4%)はあったものの、既存店舗の軟調傾向により利益が伸び悩んだほか、設計・施工事業における第4四半期での相対的な受注減によるものです。特に2~3月におきましては、アミューズメント施設運営事業において既存店舗の落ち込みが予想以上

に大きかったことに加え、全店規模で新型機器を導入したことによる償却負担増、更には決算に伴う税効果負担増など、単月の収支負担が重くなったことによるものです。

次期の見通しについて

次期におきましても、個人消費の回復には時間がかかることと推測され、予断を許さない状況に変わりありません。そのような中で当社は、「革新」をスローガンに、引き続きこの業界不況をチャンスと捉えた積極的な事業展開を推進してまいります。

アミューズメント施設運営事業では、「サービス力(接客力+提案力+アプローチ力)」およびダイレクトマーケティング力の強化、株式会社ネクストジャパンホールディングスとの資本・業務提携による両社のノウハウの融合を推進し、幅広い層のお客様が楽しめるアミューズメント施設の提供に取り組むほか、効率的なアミューズメント機器投資や魅力あるイベントの実施による付加価値の高い施設運営を実現してまいります。

施設設計・施工事業におきましても、当社ならではのノウハウを活かした提案型営業を引き続き推進してまいります。

また、これらの主力事業を安定させた上で、これらの事業を補完・拡大する戦略的投資や、新規事業の研究を推進し、景況感に左右されない安定的なポートフォリオの形成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



業界全体としては依然厳しい状況が続く中で、当社は昨年度開設の18カ店の新店を含めた既存店舗の市場競争力の強化を中心に、業界不況をチャンスと捉えたマーケットシェア獲得戦略を推進致しました。その上で激変する業界構図を見据え、「変革」をスローガンに、同じく独立系上場オペレーターである株式会社ネクストジャパンホールディングスとの資本・業務提携の締結および一層の関係強化をはじめ、これまでの常識に捉われない将来の差別化・強みの構築にも着手した1年となりました。

特に株式会社ネクストジャパンホールディングスとの提携については、ライトユーザー&プライズ運営に強い同社のノウハウと、ヘビーユーザー&メダル運営に強い当社のノウハウの融合を目指し、積極的な人的交流も含めて、相乗効果の迅速な最大化に努めております。このような中、2010年3月3日付で当社保有の自己株式13.9%を同社に割り当て、その他関係会社としてより一層の関係強化を図るとともに、資金の面においても提携効果が最大・効率化することを目指しております。

第二の柱である施設設計・施工事業におきましては、店舗開発力を活かした不動産事業の強化など、法人向け事業の拡充を継続し、安定的な収益確保に向けたポートフォリオの形成を目指しました。

2009.05.13

アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスとの資本・業務提携を発表

ノウハウ及び経営資源の高い相乗効果創出を目標に、株式会社ネクストジャパンホールディングスと資本・業務提携契約を締結致しました。

2009.07.17

個人投資家向け会社説明会を実施(東京)

首都圏の個人投資家に向けたIR活動の一環として、東京・八重洲にて会社説明会を実施致しました。

2009

4月

5月

6月

7月

2009.05.07

アミューズメント施設における分煙・禁煙対策に着手

2009.07.29

シングルマシン専門イベント「第1回メダルファンタジアカップ」開催

普段は中々体感できないビッグゲーム(MAX Bet)など、メダルゲーム本来の醍醐味をトコトン味わっていただくための「ファン感謝イベント」を開催致しました。



2009.07.24~08.31

全店共通イベント「夏のヤッターマンキャンペーン!!」開催

夏休み限定企画として30年ぶりにリメイクされた「ヤッターマン」劇場版映画公開に合わせ、アニメとアミューズメント施設のタイアップ企画を提供致しました。



2009.09.14

アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの資本・業務提携の強化を推進

提携関係をより確実かつ円滑に推進するため、経営レベルでの意見交換や両社の社風を理解することを目的に、両社代表取締役の相互派遣を行ったほか、株式会社ネクストジャパンホールディングスによるアドアーズの株式取得を再開し、資本提携をより強固なものとなりました。

2009.12.17

個人投資家向け会社説明会を実施(大阪)

関西圏の個人投資家に向けたIR活動の一環として、初めて大阪で会社説明会を実施致しました。

2010.03.03

第三者割当による自己株式の処分および「その他の関係会社」の異動を発表

当社と株式会社ネクストジャパンホールディングスは、両社の安定的かつ発展的な企業価値の向上を果せるものと判断し、自己株式の一部を第三者割当として同社に処分することで合意に至りました。出資比率は23.8%（議決権ベースで24.9%）となり、この結果同社はアドアーズ第2位の株主となりました。

8月

9月

10月

11月

12月

2010 1月

2月

3月

2009.08.05

レトロパチスロ専門店第3弾「アドスロ八王子店」オープン

西東京での開設を希望する皆様にお応えし、業界初の「レトロパチンコ台」を導入した「アド★スロ八王子店」をリニューアルオープン致しました。



2009.09

過去最大の大型ホール施工案件を完工



2009.09.17

カラオケアドアーズ門前仲町店オープン

資本・業務提携先である株式会社ネクストジャパンホールディングスより、運営コンサルティングを受けて、新業態「カラオケアドアーズ門前仲町店」を開業致しました。



2009.12.13

シングルマシン専門イベント「第2回メダルファンタジアカップ」開催

8月に開催し、大変な反響をいただいた「メダルファンタジアカップ」第2弾を、メダル運営に定評のあるバイオン様をゲストに迎え開催致しました。



2009.12.31~2010.01.03

ホテルニューオータニ特別営業企画

店舗における通常イベントとは一線を画した企画として、年末年始の期間限定でホテルニューオータニにおける特別営業を展開致しました。



2010.01.19

第3回接客コンテスト開催

初めて営業中の実店舗を審査会場に使い、一般のお客様も審査員としてご参加いただいた「第3回接客コンテスト」は大盛況のうちに終了し、業界の内外から高い注目を集めました。



第3回接客コンテスト 最終審査会

～あなたの笑顔のために😊 Create Happiness!～



主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、一昨年に開設した18カ店の新店を含む既存店舗の市場競争力の強化を徹底し、業界不況をチャンスととらえた、積極的なマーケットシェアの獲得戦略を全社一丸となって推進致しました。

施設関連では、レトロスロット専門店第3弾として「アド★スロ八王子店」を開設したほか、株式会社ネクストジャパンホールディングスからの運営コンサルティングを受けて新業態の「カラオケ門前仲町店」を開設するなど、低コスト高収益型の業態開発に注力してまいりました。

また、当社の最重要課題に位置付ける「サービス力(接客力・提案力・アプローチ力)」の強化につきましては、「お客様ボイスカード」や、お問合せ・クレームのデータベース化を通じて得たノウハウを元に、「アドモバの充実」、「ゲームメダル単価変更・預かり期間延長」や、「メダルファンタジアカップ開催」などの施策を展開しました。中でも、3度目となる「接客コンテスト」ではアミューズメント知識の筆記テストを導入したほか、初めて営業中の実店舗にて開催するなど常に新しい試みから、より高い次元でのサービスの提供を目指しました。

今後につきましても、引き続き効率的なアミューズメント機器投資、当社独自の魅力あるイベント実施による、付加価値の高い施設運営を実現してまいります。

Business Introduction

アミューズメント施設運営事業



第2回メダルファンタジアカップ



カラオケアドアース門前仲町店



アド★スロ 八王子店



お客様ボイスカード

非接触型ICクーポンサービス\"アドモバ\"

Business Introduction

施設設計・施工事業



当社の第二事業である施設設計・施工事業におきましては、得意とする中・大型ホールの内装工事を多数受注したほか、9月には過去最大となる大型物件を完工致しました。また、中・大型ホールやアミューズメント施設にとどまらず、積極的な営業活動を図ったことにより各種飲食施設や娯楽・健康施設、オフィスビルなども堅調に受注獲得につながりました。

今後につきましても、自社・他社店舗の開設で培った「エンターテインメント性」や「効率的な顧客誘導・導線」、「短納期」などの当社ならではのノウハウを活かした提案型営業を推進し、引き続き得意とする各種アミューズメント・飲食施設等のデザイン・設計施工に取り組んでまいります。



イーグルスポーツプラザ小山



池袋酒場情熱ホルモン



カラオケアドアーズ門前仲町店



小肥羊大宮店



マリンスタジアム内売店 サンマリノ

貸借対照表

(単位:百万円)	第43期	第42期
	2010年3月31日現在	2009年3月31日現在
資産の部		
流動資産	11,144	7,537
固定資産	22,160	24,502
有形固定資産	12,031	13,614
無形固定資産	1,114	1,239
投資その他の資産	9,014	9,649
資産合計	33,304	32,040
負債の部		
流動負債	12,536	9,369
固定負債	8,590	11,956
負債合計	21,127	21,326
純資産の部		
株主資本	12,094	10,712
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	5,855	5,855
利益剰余金	2,665	2,896
自己株式	△ 426	△ 2,039
評価・換算差額等	82	1
純資産合計	12,177	10,713
負債純資産合計	33,304	32,040

Point

資産合計

投資抑制、ならびに自己株式の売却により現金及び預金等が増加し、33,304百万円となりました。

負債合計

支払手形が増加したものの、借入金を圧縮したことから21,127百万円となりました。

純資産合計

配当金の支払いによる減少はありましたが、自己株式の売却により12,177百万円となりました。

損益計算書

(単位:百万円)	第43期	第42期
	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	26,034	27,500
売上総利益	3,493	4,194
販売費及び一般管理費	2,644	3,279
営業利益	848	915
営業外収益	155	175
営業外費用	366	444
経常利益	637	645
特別利益	118	308
特別損失	254	364
税引前当期純利益	501	589
法人税等	231	236
当期純利益	270	353

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第43期	第42期
	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,031	4,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,235	△ 8,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,547	387
現金及び現金同等物の増減額	5,248	△ 3,753
現金及び現金同等物の期首残高	1,720	5,474
現金及び現金同等物の期末残高	6,968	1,720

販売費及び一般管理費

全社一丸となったコスト削減により2,644百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の回収が進んだことなどから、9,031百万円となりました。

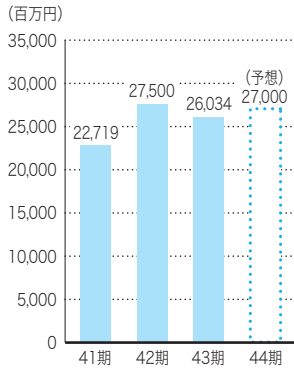
投資活動によるキャッシュ・フロー

効率的なマシン配置により、アミューズメント機器等の投資を抑えたことから、△2,235百万円となりました。

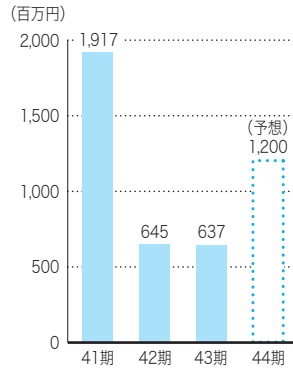
財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の売却による収入増はあるものの借入金の借入圧縮などにより、△1,547百万円となりました。

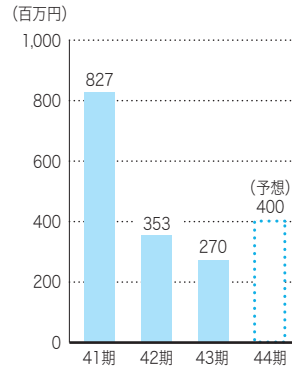
売上高



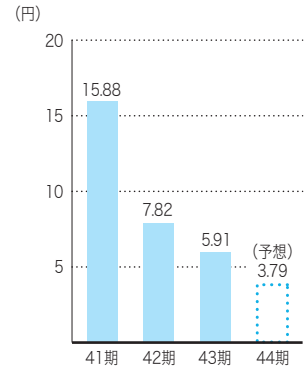
経常利益



当期純利益



1株当たり純利益

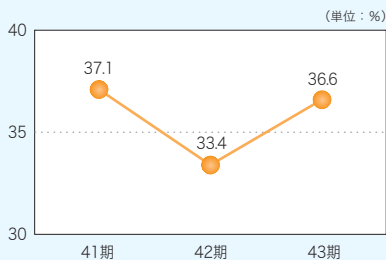


※平成22年4月30日を基準日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

財務健全性

株主資本比率 **36.6%**

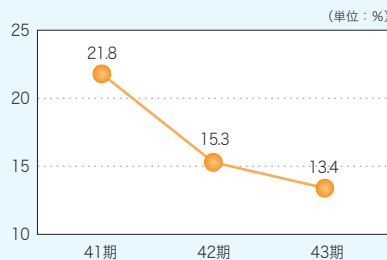
当期におきましては、新規出店を抑制したほか、マーケットニーズに合わせた効率的なマシン配備など、設備投資の抑制によって有利子負債の圧縮に努めました。また自己株式の処分等によって、財務体質の改善を図った結果、株主資本比率は36.6%となり、積極的な投資を行った2008年以前の水準に回復しております。



収益性

売上高売上総利益率 **13.4%**

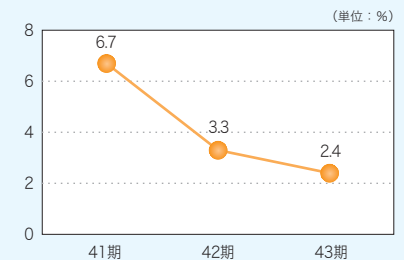
年間を通じ、アミューズメント施設運営事業の既存店の軟調傾向が続いたことや、競争激化による施設設計・施工事業の第4四半期での利益率低下などの影響から当期は減収減益となり、売上高売上総利益率は13.4%となりました。アミューズメント施設運営事業では、客単価の落ち込みはあるものの、来店客数は前年を上回り続けておりますので、引き続き効率的な機器投資やコスト削減に取り組みながら収益性の改善に努めてまいります。



効率性

株主資本当期純利益率 **2.4%**

厳しい事業環境の中、当期純利益は270百万円と減益となり、ROEも2.4%と前期より1.1ポイント下がる結果となりました。来期の見通しにつきましても不透明感は依然拭いきれませんが、引き続き主力事業の強化及び、景況感に左右されない安定的なポートフォリオの形成に取り組み、経営目標であるROE10.0%の実現に向け経営効率の改善に注力してまいります。



各種アミューズメント業態

多様化した余暇ニーズに合わせて、多種多様な業態を展開しております。

アミューズメント施設
「ADORES」&「Game Fantasia」



79カ店

レトロスロット専門店
「アド★スロ」



3カ店 (大山・高田馬場・AD八王子店B1F)

メダルゲーム専門フロア
「メダルファンタジア」



1カ店 (ADミラノ店3F)

アミューズメントカジノラウンジ
「addict」



1カ店 (AD銀座addict店B2F)

インドアプレイグラウンド
KID-O-KID南砂町SUNAMO店



1カ店 (AD南砂町SUNAMO店隣接)

ポータブルゲームカフェ
「ゲームスペースカワサキ」



1カ店 (ADイサゴ店2F)

カラオケアドアーズ
門前仲町店



Photo by Shin Photo Work

1カ店 (AD門前仲町店4F)

※総店舗数では81カ店ですが、一部業態が店舗の一フロアとして重複しております。業態では上記の通りに分かれます。

首都圏周辺店舗路線図



- 札幌 ② 東豊線 栄町
東豊線・南北線・函館本線・東西線 札幌
- 仙台 ② 仙山線・東北本線 仙台
東北自動車道・仙台バイパス 泉IC
- 愛知 ① 東海道本線 尾張一宮
- 大阪 ① 東海道線 摂津富田
- 和歌山 ① 和歌山線 岩出

東京都	41
神奈川県	19
千葉県	8
埼玉県	6
北海道	2
宮城県	2
愛知県	1
大阪府	1
和歌山県	1
合計	81

会社概要

社名	アドアーズ株式会社 (ADORES, Inc.)
創業	1964年2月11日
設立	1967年12月25日
資本金	40億円
社員数	385名、臨時従業員711名 (2010年3月31日現在)
本社事務所	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町二丁目1番3号 TEL.03(5623)1100
事業所	海老名事業所 〒243-0415 神奈川県海老名市上河内19 神奈川トナミ運輸倉庫(株) 東名支店倉庫内 TEL.(046)237-3451
事業内容	遊戯場施設の運営及び運営サポート アミューズメント施設の企画・開発及び販売 アミューズメント施設のデザイン・施工及び監理 遊戯機器及び遊技機器・部品のレンタル 遊戯機器及び遊技機器・部品の修理及び保守管理業務
ホームページ	http://www.adores.co.jp/

役員 (2010年6月25日現在)

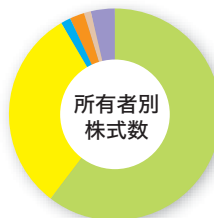
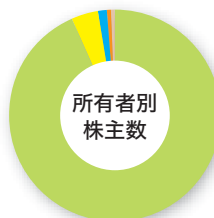
代表取締役社長	中川 健男
代表取締役専務	八多川 昭一
取締役	石田 政三
取締役	石田 清貴
取締役	小野寺 宏昭
取締役	中野 雅治
取締役	土屋 寛
取締役	野本 文之輔
取締役	藤澤 信義
常勤監査役	栗岡 利明
監査役	川島 英明
監査役	内山 博夫

株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行済株式総数	54,778,796株
発行可能株式総数	130,000,000株
株主数	2,276名 (うち、単元株主数 1,731名)

大株主 ※下記のほか、当社名義の株式が2,012,020株あります。

株主名	当該株主の当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	39.19
株式会社ネクストジャパンホールディングス	13,027,000	24.90
鈴木 昭作	2,046,486	3.91
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	1,710,000	3.26
星 久	826,924	1.57
岡田 浩明	606,000	1.15
株式会社ヤマニ	588,460	1.12
株式会社ジョイントマスター	533,000	1.01
アドアーズ従業員持株会	454,965	0.86
株式会社証券ジャパン	422,000	0.80



※平成22年4月14日付「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」で開示しましたとおり、当社は、平成22年5月1日付で普通株式を1株につき2株の割合をもって株式分割を行なうとともに、発行可能株式総数を増加する変更を行ないました。
分割後の当社発行済株式総数 109,557,592株、分割後の当社発行可能株式総数 250,000,000株

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel:0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.adores.co.jp/)に掲載致します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。

【株式に関するお手続きについて】

証券会社等に口座を開設されている株主さま

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel:0120-232-711 (通話料無料)
○ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	
○ 株式事務に関する一般的なお問合せ	
○ 単元未満株式の買取・買増請求等、 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等に お問合せください。

証券会社等に口座を開設されていない株主さま

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel:0120-232-711 (通話料無料)
○ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	
○ 株式事務に関する一般的なお問合せ	
○ 特別口座から一般口座への振替請求	（手続き書類のご請求方法） ○ 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○ インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
○ 単元未満株式の買取・買増請求	
○ 住所・氏名等のご変更	
○ 特別口座の残高照会	
○ 配当金の受領方法の指定	

43rd Business Report

アドアーズ株式会社 <http://www.adores.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

経営企画室 IR・広報グループ：03-5623-1115

CONTENTS

株主の皆様へ	1
アドアーズの1年	3
アミューズメント施設運営事業	5
施設設計・施工事業	6
財務諸表	7
店舗業態／路線図	9
会社概要・株式の状況	10
株主メモ	11



地球環境に配慮した
大豆油インキを使用しています

